

常なる磐

つねなる いわ season II
令和3年7月14日(水)

号外

◇7月14日(水) 東海愛知新聞より

2021年(令和3年)7月14日(水曜日)



初の全国大会出場

岡崎中央 豊川との合同チームで ボーイズ

少年
野球

日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)所属の岡崎中央ボーイズ小学部がこのほど、豊川ボーイズ小学部と合同チームを結成し、愛知県東支部予選で優勝した。八月に大阪府で開かれる全国大会(第十二回日本少年野球選手権大会)への出場を決めた選手らは喜びとともに、大舞台での一勝を目指す。

(竹内雅紀)

岡チームは昨年、所属全員野球で最後まで所属選手が少ないことから合同チームを結成した。今年六月の支部予選では、初戦をゴールド勝ち、準決勝と決勝を共に1点差のサヨナラ勝ち(逆転勝ち)で初の全国切符を手中に収めた。

岡崎中央ボーイズの井上秀之監督(五)によると、合同チームは攻撃型で、岡崎中央、豊川の両チームの主将が軸になって引っ張り、岡崎中央ボーイズには六年生が三人で五年生が不在のため、四年生も大会に帯同する。七月十二日には四、六年生七人が井上監督らとともに岡崎市役所を訪れ、中根康浩市長に全国大会出場を報告した。主将で投手兼内外野手の倉橋成風君(男川小六年)は「合同チームは元気のあるチーム。目標は全国制覇」と自信に満ちあふれた表情で語った。

岡崎中央ボーイズの井上秀之監督(五)によると、合同チームは攻撃型で、岡崎中央、豊川の両チームの主将が軸になって引っ張り、

岡崎中央ボーイズには六年生が三人で五年生が不在のため、四年生も大会に帯同する。七月十二日には四、六年生七人が井上監督ら

(男川6、内野手)▽鈴木魁(常磐南4、投手兼捕手兼内野手)▽川口晴大(井

田4、外野手)▽峰澤響斗(常磐東4、内外野手)▽野村颯翔(井田4、外野手)チームはホームペーシなどで選手の入団を呼び掛けている。



豊川ボーイズとの合同チームで全国大会に出場する岡崎中央ボーイズの選手=岡崎市役所で

おめでとう！響斗くん。がんばれ！響斗くん。

昨年初めより新型コロナウイルスが流行し、感染予防のためマスクの着用が推奨されています。マスクを長時間着用していると、マスクが触れる部分が赤くなったり、痒みや痛みが出たりして「肌荒れ」が起こることがあります。

不織布マスクは水分がこもりやすく、汗の量が増える夏は、なおさら内部の湿度が上がります。そうした状況下でマスクを外すと、皮膚の水分とマスク内の水分が蒸発し急に皮膚が乾燥します。マスクの着用、取り外しにより「蒸れ」と「乾燥」を繰り返し、そこにマスクによる「摩擦」が加わることで「肌荒れ」が起こればと考えられます。

マスク着用による肌荒れに注意を！

「肌荒れ」予防として、マスクを着ける前や外した後にクリームや化粧水、乳液を塗って保湿することが重要です。最低でも朝晩の保湿を行ってください。顔に合わないマスクは皮膚への刺激が大きく注意が必要です。そんな時は、マスクと皮膚が触れる部分にガーゼなど熱のこもりにくい薄めの柔らかい布を挟めば、皮膚への刺激が減らせます。

まだまだ続く蒸し暑い梅雨、予想される猛暑に備えて、しっかり保湿をしてマスクによる「肌荒れ」を予防してください。

※参考資料：中日新聞

2020年5月26日号

大河内 康行

(岡崎市医師会)

健康
メモ